

ペニング真空計測定子 定期メンテナンスのお薦め

真空圧の指示値がおかしい！

この真空圧は正確なのか？

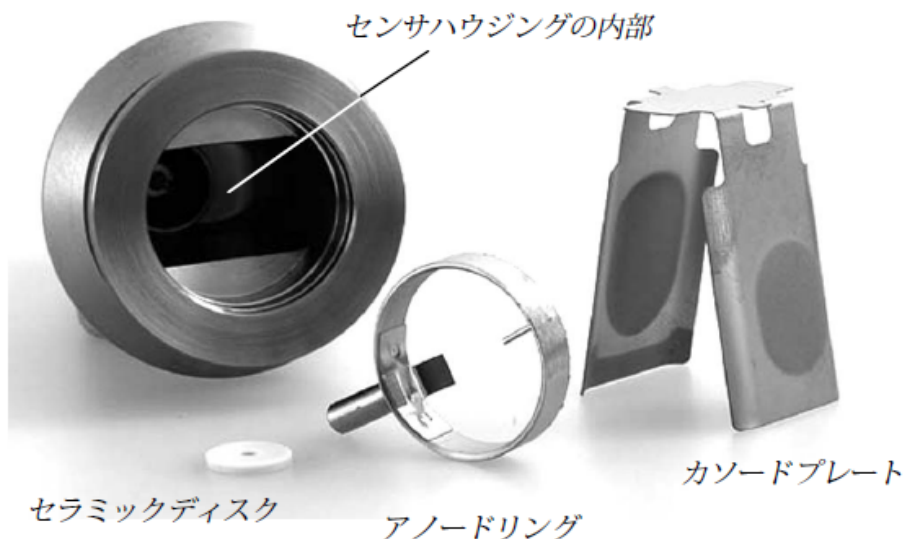
====>> **真空計の測定子は日々消耗しています !!!**

- ①測定子の電極は使用時間が長くなると表面に被膜が付着します。
- ②その影響で放電電流が検出しづらくなります。
- ③再生するにはアノード電極とカソード電極の交換が必要です。
- ④知らずに使用していると真空装置の使用条件が変わっている事もあります。
- ⑤理想的には使用時間を基準にオーバーホールを継続することです。

知っているけど見過ごしているのがペニング真空計のオーバーホールです。自分で測定子を分解すると元に戻らなくなる不安があると思います。動作試験済みメンテナンスサービスをご利用になりませんか？

いつでも安心して真空装置がご使用頂けます。

メンテナンスパーツ



提供: INFICON

定期メンテナンスの内容

- メンテナンスサイクル : 1回/年(昭和真空推奨)
使用環境(Arガス、O₂使用雰囲気など)により寿命が違います。
- 交換部品 : カソードプレート、アノードリング、セラミックディスク
- クリーニング : センサハウジング内部の汚れを除去します。
- 放電動作試験 : オーバーホール後測定子を真空装置に取付け動作確認します。

詳しい説明やお見積り・お問い合わせは、下記連絡先までお問い合わせ下さい。

株式会社 昭和真空 サービス部 CS課

〒252-0244 神奈川県相模原市中央区田名3062番地10

電話 042-764-0372

maintenance-repair@showashinku.co.jp